

会 議 記 録

会議名称		中央区保健所運営協議会	記録作成年月日 記録作成者	令和5年2月13日 佐野 和子
開催年月日		令和5年2月13日（月）午後7時00分～7時50分		
開催場所		中央区保健所2階大会議室		
出席者	委員名	津布久裕、杉野敬一、西井京子、竹内聡美、鈴木邦治、小川勝、阿部千博、川名信一、井上龍太、小村真理、高橋伸治、中野耕佑、篠原禎子、田中寛子、山野純治、岩崎隆浩		
	事務局	保健所長、生活衛生課長、日本橋保健センター所長、ワクチン接種等担当課長、生活衛生課職員2名		
傍聴者		なし		
配布資料		資料1 食中毒等の発生状況について 資料2 地域における動物の相談支援体制の整備について 資料3 中央区健康・食育プラン及び中央区自殺対策計画の改定について 資料4 多胎児を妊娠した者に対する妊婦健康診査費用の追加助成について 資料5 3歳児健診（視力検査）への屈折検査の導入について 資料6 新型コロナウイルス感染症関連数値資料 資料7 新型コロナウイルスワクチン接種状況について 中央区保健所運営協議会次第 委員名簿 座席表 中央区保健所運営協議会条例		
会議次第		1. 開会 2. 保健所長あいさつ 3. 委員及び職員紹介 4. 会長選出 5. 職務代理者の指名 6. 議題 7. 閉会		
審議・検討の経過		1 生活衛生課長から開会のあいさつ 2 保健所長によるあいさつ 3 生活衛生課長が委員及び職員を紹介 4 生活衛生課長が出席委員数及び協議会の成立を報告 5 委員の推薦により津布久裕委員を会長を選出 6 会長が杉野敬一委員を職務代理者に指名 7 会長が会議の公開・傍聴について事務局に確認		

	<p>8 生活衛生課長が会議の公開、傍聴可能であることと合わせ会議資料や議事録を公開する旨報告</p> <p>9 会長が傍聴希望者の有無を確認</p> <p>10 生活衛生課長が傍聴希望者はいないことを報告</p> <p>11 生活衛生課長が配布資料を確認</p> <p>12 会長が事務局に配布資料の説明を事務局に求める</p> <p>13 保健所長、生活衛生課長、ワクチン接種等担当課長が配布資料について説明</p> <p>14 質疑応答</p> <p>15 会長が事務局からの連絡事項の有無を確認</p> <p>16 生活衛生課長が事務局からの連絡事項はないことを報告</p> <p>17 会長が閉会のあいさつ</p>
発言者	発言内容
	(資料説明についての質疑応答)
委員	食中毒について、違反のオクラとグレープフルーツについてどちらの国から輸入されたものだったか。
生活衛生課長	オクラはフィリピンから、グレープフルーツはトルコのものである。食品のモニタリング検査で中からピックアップして検査をする。そこで一旦大丈夫ということで流通した後に、検査結果が出て、回収命令がでる。本当に危険なものは命令検査と言って検査が終わるまで流通させない。何回か回収命令が重なると先に検査をして流通させることができなくなる仕組みになっている。
委員	資料6の5ページ保健所コールセンターの内容別相談受付状況、令和2年の4月頃はかなり相談件数も多かったが、最近は若干減ってきているようである。相談内容の「その他」が多くなっているようだが、代表的なものがあれば何点か教えてほしい。
保健所長	最初の段階では、「熱が出たらどうすればよいか」という相談が多かった。その後流行が起こるたびにコールセンターへの相談が増えていったが、その中で、感染して自宅療養等をした時の保険の証明をどうしたらよいかという相談が保健所に寄せられて、その件数が非常に多かった。今はそういうものを求めないとの国の答申もあったので、取り扱いも減ってきている。あとは海外に行く場合のコロナワクチン接種証明の問い合わせ、といった状況である。
会長	宿泊療養についての質問、問い合わせはどうだったか。
保健所長	宿泊療養についても東京都のほうで一括して対応するようになり、落ち着いてきた。当初の段階では自宅療養の中で、ご家族がどうしたらよいかという問い合わせが非常に多かった。今は宿泊療養の問い合わせの対応は都のコールセンターでしているので、原則として東京都の対応に流れている状況である。

委員	3歳児検診の屈折検査機器の導入について、何台くらい入れるのか。
保健所長	各保健センター1台ずつ、各センターごとに入れる。区全体としては3台である。